



食育だより

R3年 宇都宮市立城山西小学校



◆稲刈り◆



毎年恒例の稲刈りですが、今年は感染症対策として、学年ごとに行いました。多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。

今回収穫したお米は今後の給食の時間に、田んぼを管理してくださったり、脱穀等を行ってくださったりする方々への感謝の気持ちをもちながら1つぶ1つぶかみしめていただきたいと思います。



↑6年生にとっては最後の稲刈り。晴天に恵まれ、汗だくになりながら一生懸命稲を刈る雄姿が見られ、有終の美を飾りました。←今年は、低学年の子供たちも、鎌をもって稲刈りに挑戦！北條誠一さんご指導の下、みんなとっても上手に刈っていました。

農園活動 野菜くずから土作り



成長点である芯や外の刺激から実を守る皮には実の何倍もの栄養があるそうです！

本校は5つの約束の1つ「安心でおいしい給食」を目指し、これまでも給食農園の野菜を収穫したり、給食で食べたりしてきました。今年は、さらに子供たちが農園活動を通して地球と自分のいのちのつながりを感じ、SDGsや生態系について考えることができるように、土づくりから苗植え、収穫までを自分の手で行う取り組みを高学年で行っています。

ボランティアの渡邊博和さんをお迎えし、1日目は、「野菜のどこが一番栄養があると思う？なぜそこに？」等のクイズを交えながら野菜くずを小さくつぶして土に混ぜました。2日目は、そうして寝かせた土の中で育った白い菌（この日しか見られない！）を確認しました。発酵熱で湯気が出ている温かい土を直に触り、感嘆の声があがっていました。授業後の感想では、「SDGsとはこういうことかと分かった」、「たった4日間で野菜くずがすっかり菌に食べられて分解されたり、普段は見えない菌が目に見えたりしたのに驚いた。」「農業は肥料を使って行うというイメージだったけれど自然の力を生かして土づくりを行って野菜を育てる方法があることが分かった」等の声が聞かれました。



菌が食べやすいように小さくしよう



ほかしイン！土を混ぜよう

4日後



菌が、発酵熱の熱で死なないように混ぜて空気を入れよう

